

JAアグリあなん スタジアム



ままブラス anan maman

子育てと両立しながら吹奏楽に取り組む「ままブラス anan maman」。市主催の野球大会や各団体からの依頼、慰問などで演奏し、豊かな音色で一役買っている。

平成25年4月に阿南市夢ホール市民協議会の事業として結成後、同年10月以降は自主運営で活動を継続。楽器は各自が持参し、月4回、練習を行っている。練習会場で楽器の音色と子どもの元気な笑い声が絶えない温かな空間が広がるのは、同グループならではの光景。メンバーの多数が子育て中のため、会場の一角に託児スペースを設置するなど細やかな配慮をしている。さらに「キッズタイム」を設け、子どものリクエストに応じて演奏したり、誕生日を祝ったりと、子どもとの時間も大切にすることで、お互いが心地よく時間を共有できているようだ。それは、安心して練習に取り組めるだけでなく、子どもの成長にもつながっている。「演奏を通して音楽のすばらしさを少しでも感じてもらえればうれしいです。よい演奏を心がけて限られた時間の中で集中して練習しています」。そう話す代表の新田恭子さん（50歳・長



全日本生涯選層野球大会
開会式で演奏



キッズタイムで誕生日のお祝い



真剣に合奏練習に取り組む



時にはキッズダンサーの出演も

生町)の熱心な指導に伝えようと、向き合うメンバーの姿は真剣そのものだ。そんな同グループと交流が深いのが、新野高校。平成27年8月の東京六大学野球オールスターゲームで合同演奏して以来、現在も交流が続いている。同高音楽部の中津里菜さん(3年)は、「音楽部は生徒が6人しかいないので、大人数で演奏できるのはよい経験です。本番の状況に合わせて音に強弱をつけるなど臨機応変に演奏する皆さんを尊敬しています」と思いを語る。

また、メンバーや楽器不足で困っているときは、サポート参加やドラム一式の寄付など地域の方が手を差し伸べてくれた。「小さな団体だからこそ、さまざまな方と助け合い、つながりが生まれ、深まります」と新田さんは話す。来年2月に開催予定の結成5周年記念演奏会に向け、多彩な企画が進行中。子育て中の今だからこそ、好きなことを諦めず、全力で取り組む「ままブラス anan maman」の演奏にふれてみてはいかがでしょう。

メンバーを募集しています!

☎新田 (023-5950) <